

## 2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	はすの会
活動テーマ	家族や愛する人を失った方々を支える。グリーフケア提供者を養成する。



遺族向けの勉強会・茶話会として「カフェ・ド・ロータス」をハートンホテルにて3回開催しました。はすの会に参加したことのある遺族の方を対象に呼びかけました。定例会では主に故人のことを中心に語り合いますが、日常生活や経済的なことなども気軽に話したいという方もいます。遺族の希望を取り入れ、仏教の話やアロマキャンドルホルダー作り、詩の朗読と楽器の演奏など普段の定例会とは異なる雰囲気味わいました。またその後の茶話会では大切な人を亡くしたという共通の経験を持つ者同士、スタッフも加わり、気軽に語り合うことができました。

グリーフケア提供者のための研修を5回実施しました。延べ56名の申込みがあり、1回につき約12名の参加がありました。自身も死別の体験を持つ者や現場での経験が豊富な者が講師となり講義をし、ディスカッションやグループワークを実施しました。参加者の多くは上智大学グリーフケア研究所受講生・修了生でしたが、理論だけでなく現場での実践に焦点を当てた研修であったため、多くの学びにつながった、自身の課題があらためて浮き彫りになった、現場での対応の仕方が具体的にわかったなどの声が寄せられました。2018年度は特に遺族としての体験を持つスタッフの生の声を届けることができ、参加者にとっても実際の遺族でもあるスタッフの話の聴き、学びにつながったのではないのでしょうか。